



このたび受賞されました皆さま、おめでとうございます。この本大会にさまざまな試練を乗り越えて出場した16チームの皆さま、本当にお疲れ様でした。

今年からの手話パフォーマンス甲子園の主な変更点と申しますと「演劇・コント・ポエム等部門」、そして「ダンス・歌唱部門」の2部門が創設されたことがあります。毎年申し上げていますが、今年も以前に比べ、ずいぶんとレベルの高い作品が並んだと思います。本当に審査に苦労いたしました。レベルが年々上がっています。

演劇・コント・ポエム等部門の作品は多様で、特に旧優生保護法問題、また地震による被災地の復興、インクルーシブ社会などのテーマがありました。

ダンス・歌唱部門はバリエーションのある様々なダンス・歌唱で、こちらは見ていて飽きません。構成力、手話言語の正確さ、チームワークと年々進歩していると感じられました。

ここで優勝2チームの講評をさせていただきます。まず、演劇・コント・ポエム等部門の熊本聾学校。テーマは「ときそば今様」。「今、何時?」というこの古典落語をみせるユーモラスな、そしてテンポ良く分かりやすい、非常に面白さが伝わる作品になっていました。昨年の優勝に続き、今回2連覇ですが、実は熊本聾学校はこれ以前にも優勝されています。これからも引き続き、後輩の皆さまにぜひ指導していただきたいと思います。改めておめでとうございます。

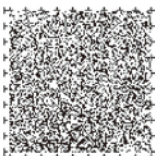
そして、ダンス・歌唱部門の優勝は大阪府立久米田高等学校です。こちらは皆さんが、手話パフォーマンスのイメージや気持ちを統一したいということが伝わってきました。手話言語の正確さ、そこに美しいダンス。このバランスはコンプリートされており、本当に面白いと感じました。「自然のありのままの自分でいい」というこの曲を、自分のものとして自由に動き、楽しい手話ダンスを見せていただきました。本当におめでとうございます。

今回の大会16チームを見ていて感じたのは、私達にはない高校生ならではの発想力です。そしてアイデアを見つけるアンテナ力、社会の問題を逃さず深く掘り下げる、そういう強い信念が伝わってきました。

そして、この舞台だけでなく、大会の司会を務めてくださった高校生4人や、舞台の表裏様々なところでフォローしてくださった高校生スタッフの皆さんのおもてなしの心も素晴らしいかったです。

手話パフォーマンス甲子園の開催地である鳥取県は実は「手話の聖地」でもあります。楽しみもたくさんあり、知事の挨拶の中にありました、「トリ・トリ・ダンス」も面白かったですね。そして、佳子様におかれましては、本当に素晴らしい魅力的な手話で、私も心惹かれました。ありがとうございました。

最後に、全国高校生手話パフォーマンス甲子園を運営されている皆さま、実行委員会の方々、全日本ろうあ連盟の皆さま、日本財団の皆さま、そして鳥取県聴覚障害者協会の方々の皆さま、多くの方々のおかげで素晴らしい大会となりましたこと、感謝いたします。誠にありがとうございました。



◀目の不自由な方のための音声コード



演劇・コント・ポエム等部門8チーム、ダンス・歌唱部門8チームの皆様、そして、審査員の皆様、またご来場いただきました皆様、そしてオンラインでご覧の皆様、本当にお疲れ様でした。

演劇・コント・ポエム等部門 優勝の熊本聾学校の皆さん、ダンス・歌唱部門 優勝の久米田高等学校の皆さんおめでとうございます。素晴らしいパフォーマンスでした。また、受賞校の皆さんも本当におめでとうございます。

手話言語の聖地、ここ鳥取県での開催を全国各地からたくさんの方々にご覧いただき、ありがとうございました。手話言語への理解がますます広まっていることを実感いたしました。また、秋篠宮佳子内親王殿下の手話言語でのご挨拶、大変感動いたしました。

本日ステージで16チームの熱戦を見て、エネルギー溢れるパフォーマンスに明るい未来を感じました。きこえない人ときこえる人が共に見て楽しめるパフォーマンスは、本当に素晴らしいものでした。

さて、来年11月に東京で開催されるデフリンピックまであと1年少しとなりました。デフスポーツの認知度を高めるには、皆様の協力が必要不可欠であり、こちらも一緒に盛り上げていきましょう。

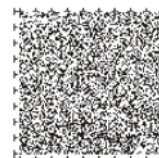
本大会を通して若い皆様が、誰一人取り残されることの

ない共生社会の構築を目指し、きこえない私たちと共に取り組んでいただけることを期待しております。

今大会の開催にあたり、高校生の皆様、関係者の皆様、ご尽力に深く感謝いたします。

以上を持ちまして、第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会いたします。

来年も是非お会いしましょう。本日は本当にありがとうございました。



● <sup>にちじ</sup>**日時**

令和6年9月21日(土) 18時～20時30分

● <sup>かいじょう</sup>**会場**

皆生グランドホテル天水 グランドパレス  
 (鳥取県米子市皆生温泉4丁目18-45)

● <sup>しゅっせきしゃ</sup>**出席者**

約270名

- 手話パフォーマンス甲子園出演者  
 (出場チーム、審査員、司会など)
- 来賓  
 (全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員など)
- 主催、共催者  
 (実行委員会委員、鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会)

● <sup>しゅさい</sup>**主催**

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● <sup>けいしき</sup>**形式**

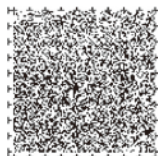
立食ビュッフェ

● <sup>しだい</sup>**次第**

- 主催者あいさつ(平井 伸治 鳥取県知事)
- 乾杯(浜崎 晋一 鳥取県議会議長)
- 御歓談
- 高校生司会者紹介
- 出場チーム抱負
- とっとり手話クイズ
- 高校生フリー交流

● <sup>こうしつ ごりんせき</sup>**皇室の御臨席**

佳子内親王殿下に御臨席をいただきました。



◀目の不自由な方のための音声コード

## ● とっとり手話クイズ

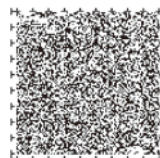
手話及び鳥取にまつわるクイズ大会を開催し、出場チーム同士の交流を深めました。

## ● 高校生フリー交流

高校生フリー交流では「交流カード」の交換などを通じて、出場チーム同士の交流を深めました。



目の不自由な方の  
ための音声コード



● **日時**

令和6年7月25日(木)

● **会場**

鳥取県庁会議室 ※一部オンライン開催

● **審査員(9名)**

**審査員長**



ろう者

しょうざき たかし  
**庄崎 隆志さん**  
 演出家・劇作家・俳優  
 ※審査員長は両部門の審査を実施

**演劇・コント・ポエム等部門**



ろう者

かわはら まさひろ  
**河原 雅浩さん**  
 一般財団法人全日本ろうあ連盟副理事長



ろう者

おおしろ ようこ  
**大城 桜子さん**  
 俳優

**ダンス・歌唱部門**



ろう者

おかざき のぶひこ  
**岡崎 伸彦さん**  
 手話エンターテインメント発信団oioi代表理事



ろう者

にゃんこ  
**Nyankoさん**  
 モデル・手話歌パフォーマー



きこえる人

たに しんいち  
**谷 進一さん**  
 響宝手話映画・代表訪問看護師



きこえる人

かわいだ さちこ  
**川井田 祥子さん**  
 鳥取大学地域学部教授・鳥取大学附属特別支援学校 校長



きこえる人

きたむら じん  
**北村 仁さん**  
 株式会社ユーディフル・UDダンス®



きこえる人

はまもと みちこ  
**濱本 道子さん**  
 鳥取ダンス協会理事

● **審査方法**

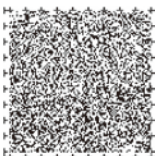
各チームから提出を受けた予選審査動画を視聴の上、各部門審査員5名による審査を行い、本大会に出場する16チームを選出しました。

● **審査結果は全国へ配信**

7月26日(金)に、結果発表及び本大会発表順などの発表を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



ライブ配信画面・映像の様子



◀目の不自由な方のための音声コード

よ せんさん か  
**予選参加チーム**

第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、30都道府県から58チーム(60校)の参加申込みがありました。

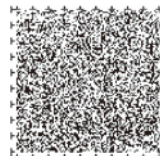
演劇・コント・ポエム等部門

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| ・青森聾学校(青森県)             | ・松原高等学校(大阪府)           |
| ・秋田県立聴覚支援学校(秋田県)        | ・鳴尾高等学校(兵庫県)           |
| ・金足農業高等学校(秋田県)          | ・兵庫県立大学附属高等学校(兵庫県)     |
| ・聖光学院高等学校(福島県)          | ・姫路商業高等学校(兵庫県)         |
| ・宇都宮商業高等学校・栃木県立聾学校(栃木県) | ・奈良県立ろう学校(奈良県)         |
| ・大宮ろう学園(埼玉県)            | ・鳥取城北高等学校(鳥取県)         |
| ・松戸向陽高等学校(千葉県)          | ・鳥取聾学校(鳥取県)            |
| ・豊南高等学校(東京都)            | ・境港総合技術高等学校(鳥取県)       |
| ・潤徳女子高等学校(東京都)          | ・広島高等学校(広島県)           |
| ・横浜南陵高等学校(神奈川県)         | ・高松南高等学校(香川県)          |
| ・日本女子大学附属高等学校(神奈川県)     | ・済美平成中等教育学校・松山聾学校(愛媛県) |
| ・小杉高等学校(富山県)            | ・松山北高等学校(愛媛県)          |
| ・石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校(石川県)  | ・熊本聾学校(熊本県)            |
| ・桜花学園高等学校(愛知県)          | ・佐伯豊南高等学校(大分県)         |
| ・岡崎東高等学校(愛知県)           | ・鵬翔高等学校(宮崎県)           |
| ・京都府立聾学校(京都府)           | ・真和志高等学校(沖縄県)          |
| ・日星高等学校(京都府)            |                        |

ダンス・歌唱部門

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| ・北海道美唄聖華高等学校(北海道)       | ・松江ろう学校(島根県)               |
| ・金足農業高等学校(秋田県)          | ・明誠学院高等学校(岡山県)             |
| ・小川高等学校(埼玉県)            | ・岡山県美作高等学校(岡山県)            |
| ・足立東高等学校(東京都)           | ・広島修道大学ひろしま協創高等学校(広島県)     |
| ・横浜富士見丘学園中学校・高等学校(神奈川県) | ・脇町高等学校(徳島県)               |
| ・龍谷富山高等学校(富山県)          | ・久留米筑水高等学校(福岡県)            |
| ・啓新高等学校(福井県)            | ・北九州市立高等学校(福岡県)            |
| ・吉原高等学校(静岡県)            | ・上天草高等学校(熊本県)              |
| ・久米田高等学校(大阪府)           | ・阿蘇中央高等学校Aチーム(熊本県)         |
| ・神戸野田高等学校(兵庫県)          | ・阿蘇中央高等学校Bチーム(熊本県)         |
| ・高砂高等学校(兵庫県)            | ・大分東明高等学校(大分県)             |
| ・奈良県立高等養護学校二階堂分教室(奈良県)  | ・五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本大学高等学校(宮崎県) |
| ・米子東高等学校(鳥取県)           |                            |

目の不自由な方の▶  
 ための音声コード



● **広告など**

- ・日本海新聞／記事体広告（2回）
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒（54回）
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ（1回）
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知
- ・米子市公会堂前ビジョン／CM15秒



日本海新聞／記事体広告



日本海新聞／記事体広告



日本海新聞／うさぎの耳



開催告知テレビCM



情報番組「スパイス」

● **チラシなど**



A4版チラシ  
参加チーム募集編



A4版チラシ  
本大会開催PR編



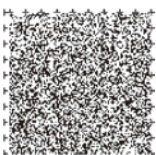
B1版／B2版  
ポスター



のぼり



懸垂幕



◀目の不自由な方  
のための音声コード

## ● ホームページ・SNS

公式ホームページサイト、Facebook、Instagram、X(旧Twitter)、LINE、YouTubeを活用し、大会情報など随時発信しました。また、大会オリジナルLINEスタンプも販売しています。

しゅわ こうしえん どうが  
手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル

<https://www.youtube.com/user/skoushien> チャンネルはこちら▶



### ・YouTube動画



手話パフォーマンス紹介編



How to手話パフォーマンス編



参加校による大会公式ソング映像

### ・YouTubeでのライブ配信



7月26日(金) 予選審査結果発表



9月22日(日) 本大会

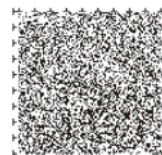
## ● とつとり だいがく しゅわ たいけん 鳥取大学手話サークル「うさぎのて」ワークショップによるプレ体験

本大会開催前に、鳥取大学手話サークル「うさぎのて」ワークショップを鳥取市立世紀小学校4年生の総合学習の授業で実施し、大会PRを行いました。

- (1) 日程 8月27日(火)11時20分から12時20分まで
- (2) 会場 鳥取市立世紀小学校(鳥取市徳尾407番地)  
(対象:4年生2クラス)
- (3) 実施 鳥取大学手話サークル「うさぎのて」  
しもみやあおい  
下宮葵さんほか
- (4) 内容
  - ・手話勉強 簡単な手話のレクチャーなど
  - ・ワークショップ“みんなでジェスチャー ～あなたはだあれ?～”  
(不思議なキャラクターが書かれたカードを持って、身振り手振りで同じ仲間を見つけるオリジナルゲーム)



目の不自由な方の▶  
ための音声コード







# ほん たい かい しん さ じっ し よう りょう 本大会 審査実施要領

第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会審査実施要領[抜粋]

## 1 概要

- (1) 日程 令和6年9月22日(日)  
(2) 場所 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市末広町294)

## 2 審査員

- 審査員は、部門別に以下の通り設置する。(原則として予選審査会に同じ)  
(1) 演劇・コント・ボエム等部門 演劇、コント、落語、その他のパフォーマンス 計5名(きこえない・きこえにくい審査員3名(うち1名審査員長)、きこえる審査員2名)  
(2) ダンス・歌唱部門 ダンス・歌唱を中心としたパフォーマンス 計5名(きこえない・きこえにくい審査員3名(うち1名審査員長)、きこえる審査員2名)

## 3 審査方法

審査は「演劇・コント・ボエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて実施する。5の採点方法に基づき各部門の審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

## 4 演技時間等

- (1) 演技時間は、  
演劇・コント・ボエム等部門(演劇、コント、落語、その他のパフォーマンス)3分以上8分以内  
ダンス・歌唱部門(ダンス、手話歌・歌唱を中心としたパフォーマンス)3分以上6分以内とする。  
(2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行った後のライト点灯時から開始し、生徒の「ありがとうございました」の手話表現をもって終了する。  
(3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。  
(4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

### 《演劇・コント・ボエム等部門》

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| ・演技開始3分まで                    | → 白 |
| ・3分経過(演技時間下限到達)から7分30秒まで     | → 青 |
| ・7分30秒経過(残り30秒前)から8分(上限時間)まで | → 黄 |
| ・8分超過(演技時間上限超過)              | → 赤 |

### 《ダンス・歌唱部門》

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| ・演技開始後3分まで                   | → 白 |
| ・3分経過(演技時間下限到達)から5分30秒まで     | → 青 |
| ・5分30秒経過(残り30秒前)から6分(上限時間)まで | → 黄 |
| ・6分超過(演技時間上限超過)              | → 赤 |

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。  
(6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う等)

## 5 採点方法

- (1) 各部門の各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

項目	きこえない・きこえにくい人	きこえる人	1チーム当たりの点数
手話言語の正確性・伝わりやすさ	20点	10点	/
演出力・パフォーマンス度	30点	30点	
審査員一人当たりの採点	50点満点	40点満点	
審査員の数	3名	2名	
合計	150点満点	80点満点	

※5段階審査基準 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:非常に劣っている

※審査方法:ステージ演技による審査を行い、手話言語の正確性・伝わりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点し、各受賞チームを決定する。

- (2) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
定められた演技時間の上限を超過した場合 ○演劇・コント・ボエム等部門 (例:8分を超え8分30秒まで △10点、8分を超え9分まで △20点) ○ダンス・歌唱部門 (例:6分を超え6分30秒まで △10点、6分を超え7分まで △20点)	超過30秒ごとに10点減点
定められた演技時間の下限(3分)に達しなかった場合	10点減点
演技上のセリフや手話言語に対応した字幕以外が表示してある場合	10点減点
その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

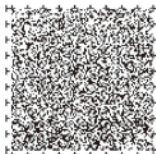
- ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の手話表現)を全く行わず、演技を終了させた場合。

## 6 表彰チームの決定方法等

- (1) 各部門の優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。  
(2) 審査得点が同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。  
ア「手話言語の正確性・伝わりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。  
イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。  
(3) 審査員特別賞は審査員で協議の上、各部門ごとに決定する。  
(4) 全日本ろうあ連盟賞は、部門を問わず全日本ろうあ連盟が決定する。  
(5) 日本財団賞は、部門を問わず日本財団が決定する。  
(6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、部門を問わず鳥取県聴覚障害者協会が決定する。  
(7) その他、上記受賞チーム以外の方の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

## 7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公開)を送付する。  
(2) 各部門の本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。



◀目の不自由な方  
のための音声コード



しゅ わ

こう し えん じつ こう い いん かい

# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

じつ こう い いん かい い いん

## 実行委員会委員

※令和6年7月16日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事	堀米 泰晴
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	澤田 敬子
	鳥取県商工会議所連合会 会長	児嶋 祥悟
	鳥取県教育委員会 教育長	足羽 英樹
	鳥取県福祉保健部長	中西 眞治

そう だん やく

## 相談役【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
相談役	日本財団 理事長	尾形 武寿

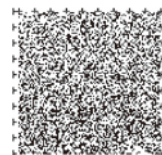
## 監事

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	中島 洋一
	鳥取県会計管理部会計指導課長	坪内 康子

き かく すい しん かい ぎ い いん

## 企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	谷口 康彦
委員	国立大学法人筑波技術大学 講師	小林 洋子
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	清水 愛香
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	山根 和志
	鳥取県手話通訳士協会	綿本 香穂
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	松田 繁
	鳥取県教育委員会 教育次長	長谷川 隆
	鳥取県高等学校長会 会長	田辺 洋範
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	吉川 隆司
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	秋田 易子

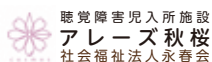
目の不自由な方の▶  
ための音声コード



## 第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

- 主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 後援／内閣府、こども家庭庁、文部科学省、厚生労働省、米子市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、一般社団法人日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM
- 裏表紙イラスト／鳥取県立米子高等学校3年 景山麻依さん(大会ポスターデザイン最優秀賞)

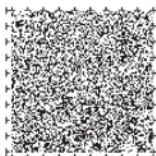
●協賛／



●特別協賛／



Otsuka 大塚製薬



### 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 (鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内)  
TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/> 手話パフォーマンス甲子園

検索